

あなたにとってセンターとは？

コロナ禍でもこれまでの働き方を継続可能にしてくれるところ

会員・南部 正造さん

(聞き手・大阪商業大学豊山ゼミナール)

ゼミ いつ入会しましたか？
南部 今年の4月1日です。

ゼミ どういう経緯で？

南部 私は清掃会社から布施のスポーツジムの仕事を担当するようになり、今も清掃業務に従事しています。

ゼミ それがどうしてシルバー人材センターに入会することになったのですか？

南部 週5日のペースで働いていたんですが、新型コロナウイルスの影響でジムの経営も厳しくなっています。それで週3日にし、後の2日はシルバーの会員として来てほしいということになりました。清掃は毎日必要なものだから。です。で、センターがあつて、私のこれまでの働き方を継続することが可能になったわけです。



ゼミ

通常、センターは民業圧迫が批判されるのですが、南部さんのケースは逆で、民業を補完しているんですね。何かセンターの新しい可能性がそこにあるような気がします。でも請負では指揮命令はできないんですけど、その問題は無いんですか？

南部

私たちは朝6時に仕事につき、セキユリティを解除したり、電気や空調をつけたりした後にはロッカー、トイレ、お風呂、フロアなどを清掃します。ジムの社員の方が出勤する時間になると、退社しますので、指揮命令というのはいりません。

ゼミ

スポーツジムはなぜ、センターの活用を思いついたのでしょうか？

南部

ジムには駐輪場の自転車整理の仕事があり、そこではセンター会員の方が働いています。もともとセンターを活用して運営をしていたので、今回も、自然とそういう発想がでてきたのだと思います。私の場合の移行もとてもスムーズでした。

ゼミ

スポーツジムの清掃の仕事を經由してセンターに来たということはわかりましたが、そもそもなぜ清掃の仕事に就こうと思ったのですか？

南部

65歳で定年して、3カ月くらいブラブラしていました。私は子どもや孫と同居しており、6人で生活しています。朝になると、妻は働きに、子どもも仕事に、孫は学校に、と家を出て行きます。最後、私1人が家に残るんです。社会から排除されたような感じがして、嫌で嫌で。

ゼミ

何か、わかるような気がします。今の清掃会社に決まったのは？私の気持ちに妻はよくわかってくれていました。それで新聞で

南部

今の会社の仕事を見つけ、背中を押してくれました。妻には感謝しています。現役時代のプライドを捨てることができたのも妻のおかげです。

ゼミ
南部

どういうことですか？
最初、清掃会社で働き始めたときプライドがありました。こんなことをいうのも何ですが、私は現役時代、結構業績を上げていた社員だったんです。ですので定年後の働き方とのギャップに悩みに悩み、プライドを捨てるまでにかかりました。

ゼミ
南部

そのことに奥さんがどのように関わっているんですか？
妻もスーパーで長年働いており、責任ある役割も担っていました。そうした妻が70歳くらいになつて潔く第一線から退いていったんです。



ゼミ
南部

そうした奥さんの生きざまに感化されたわけですね。
そうですね。またそれ以外に、定年後痛切に感じるようになったのは、子どもや孫はできることが増える一方、自分ではできないことが増えるという現実です。携帯のことも、子どもや孫に聞かないとさっぱりわかりません。そういつた現実にも直面せざるをえない状況も、プライドを捨てることにつながったのだと思います。

ゼミ
南部

清掃の仕事をしていて、やりがいのようなものはありますか？
朝のセキユリティの解除等は、私たちが担当しています。ですので、私たちがカギを開けない限りは、ジムの日中の営業は始まらないわけです。その意味では責任があります。ですので、これまで冠婚葬祭で数日休むことはありましたが、それ以外で休んだことはないです。
責任のある仕事を任せられている、何らかの役割を与えられていることはやりがいや、生きがいにとつて大切なポイントなのではないでしょうか。

ゼミ
南部

センターの雰囲気はどうですか？
最初に来たときの印象がすごくよかったですね。1人の職員の方が、やわらかい物腰で、昔からの知り合いのような感じで話しかけてくれました。知らないところにも不安とも来るわけですから「何しに来た」という感じの対応をされると、私もすぐに帰ったかもしれない。その職員は今もいろいろ親切に教えてくれ、説明もわかりやすいです。

ゼミ
南部

職員の方の対応って非常に大切ですよ。最後に、いつまで働きたいと考えていますか？
元気な限りは、働きたいと考えています。

